

SPODフォーラム2025@徳島大学
8月28日13：00～15：00

ケースを通して考える 学生対応

清水栄子（愛媛大学）

到達目標

1. 学生対応における基本的な視点と留意点を説明できる。
2. 実際のケースを通じて、適切な対応を提案できる。
3. 他者の視点や対応方針を共有し、自身の学生対応力を振り返ることができる。

本セッションの構成

1. はじめに
2. 学生対応のさまざまな場面
3. 学生の現状と求めている対応
4. 個別面談の基本と留意点
5. ケースで考える学生対応
 - ・ケース1: スケジュール管理ができない学生
 - ・ケース2: 留年が確定した学生
6. まとめとふりかえり

学生対応の内容

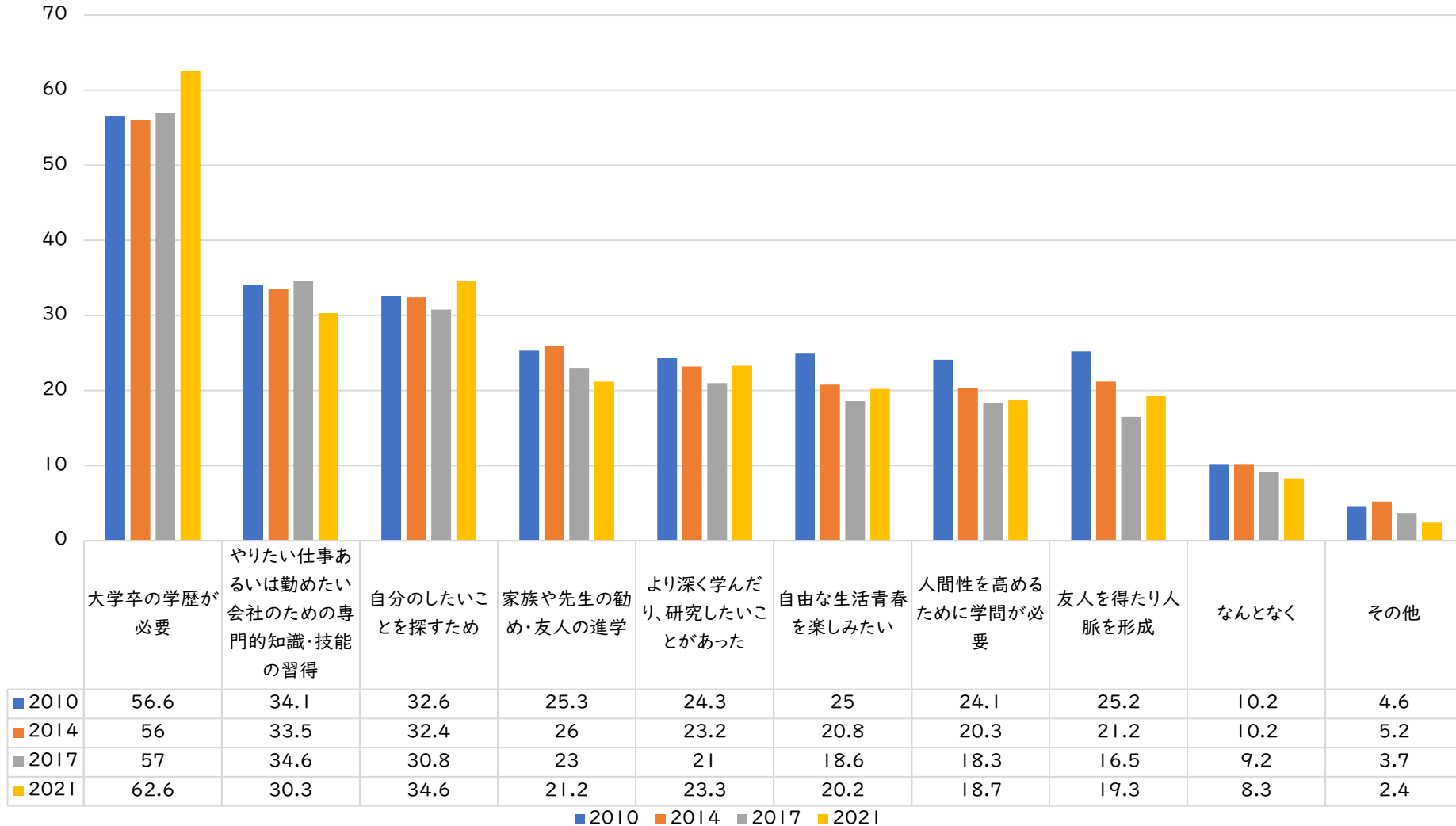
区分	具体例
学習・履修面	履修相談、学習方法、課題未提出、授業不安、成績不振、試験対応
生活面	時間管理、アルバイト、生活リズム、不登校、友人関係、サークル、金銭問題
進路・将来設計	進学・就職、インターンシップ、留学相談、留年・退学検討
健康・メンタル面	体調不良、心身不調、不安やうつ症状、障害や合理的配慮、医療との連携

命や安全に関わる緊急事案

自傷他害リスク、失踪、重大トラブル、ハラスメント被害

「対応は一人で抱え込まず、必要に応じて連携・リファーが重要

大学進学のための目的

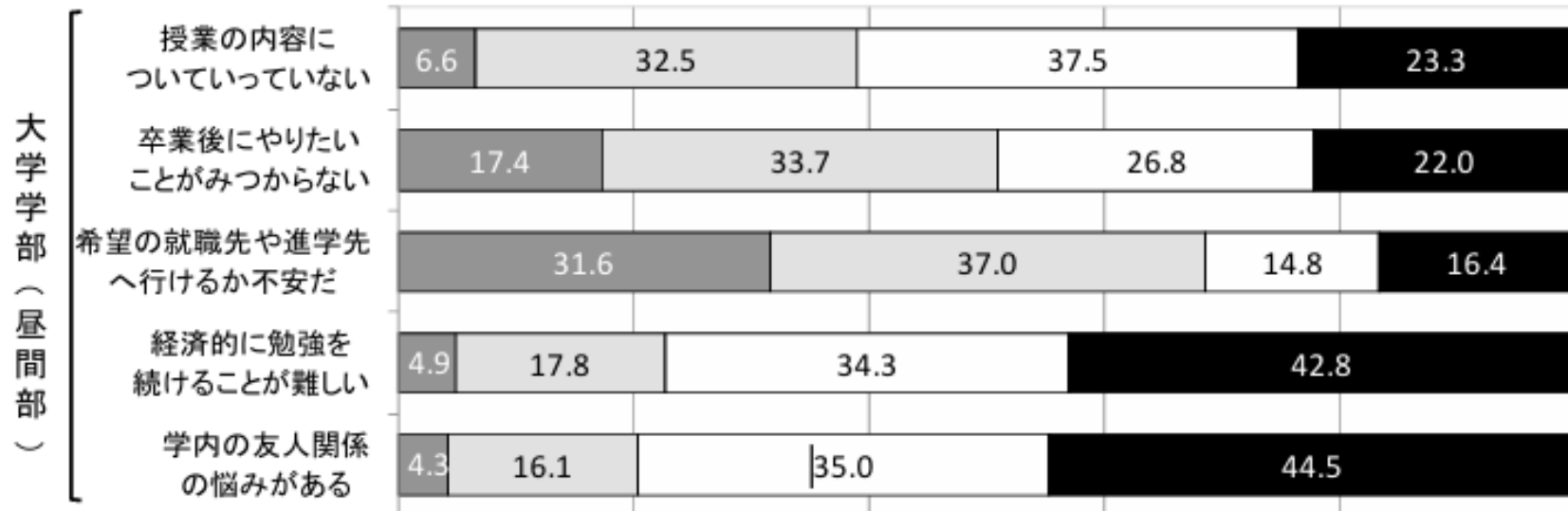


(日本私立大学連盟, 2018, 2022を基に作成)

学生の不安・悩み

大いにある
 少しある
 あまりない
 全くない
 無回答

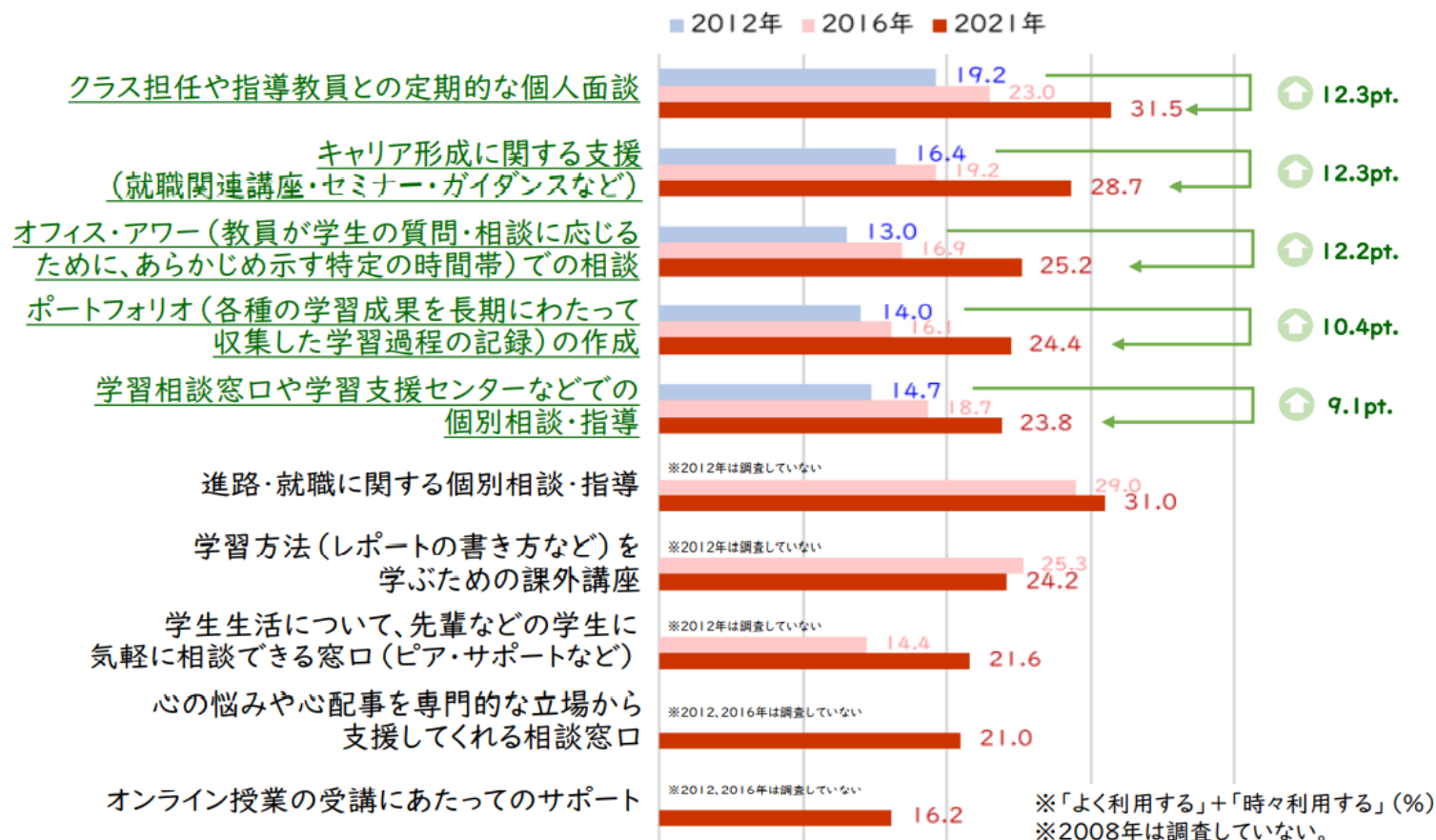
[単位: %]



（日本学生支援機構, 2024）

学生の支援環境の利用状況

◆あなたは、次のような学生に対する支援環境をどの程度利用していますか。

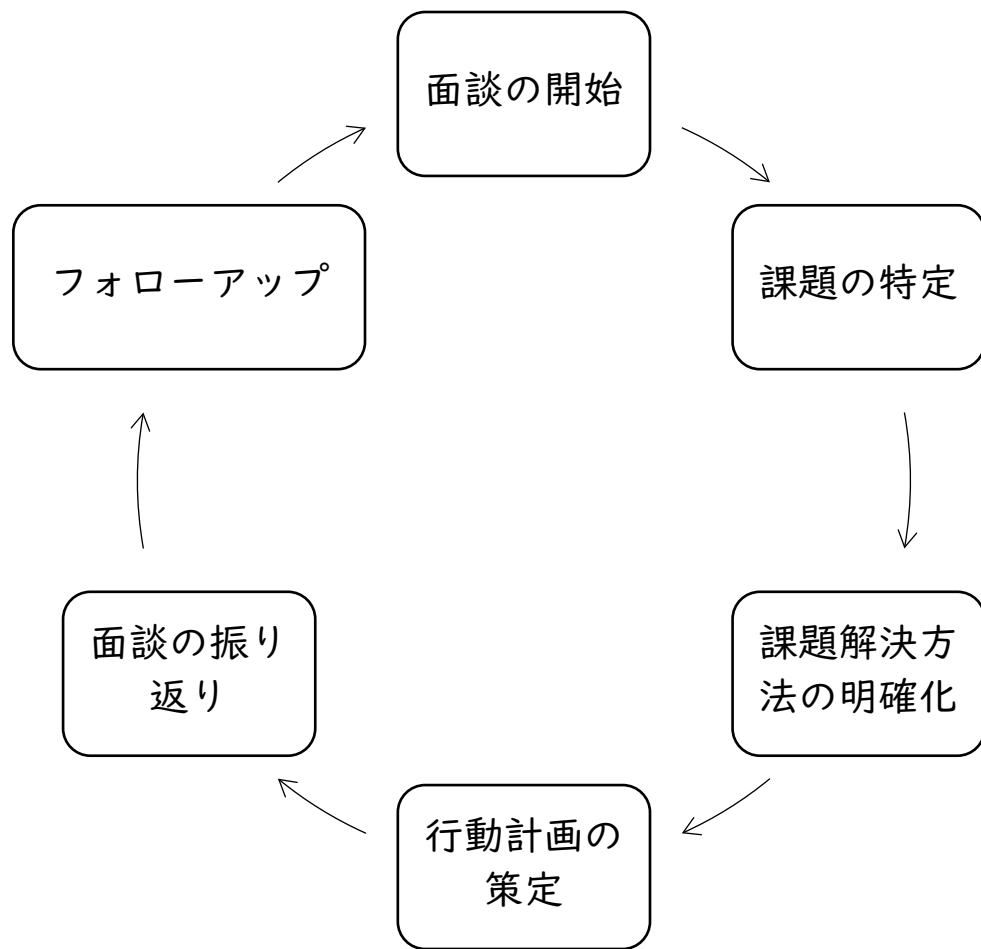


(ベネッセ教育総合研究所, 2022)

データにみる現在学生の4つの特徴

1. 進学目的は多様化している
2. 学習に対して受け身な姿勢がみられる
3. 悩みや不安を多く抱えている
4. 支援ニーズは確かに存在する
⇒ 学習や生活に関わる個別支援を求める声

面談のステップ



(McClellan,J and Moser,C 2011) (清水、中井編, 2022)

面談の開始

- 学生の情報を確認する
 - 成績表
 - 出席状況
 - 履修登録科目
 - 事前アンケート
 - 過去の面談記録／学習記録
- カリキュラムなどを確認する
- 快適に面談できる状況を整える
- ルールを決めておくー面談の進め方

日ごろから学内の掲示や各部署のウェブサイト、会議、ほかの教職員との会話などから情報を収集しておく

課題の特定

- 何を課題と考えているのかを引き出す
 - ・自分の言葉で話してもらう
 - ・学生の考えの整理、解決の道筋になる場合もある
- 傾聴
 - ・否定しない、あいづち、うなずき、明確な言葉に変換
- 質問で課題の整理
- 課題に影響を与えている原因の特定
- 本当の課題の明確化

課題解決に向けて助言する

- 適切なアプローチを選択する

一方向的 ⇔ 対話的

理解 ⇔ 気づきを促す

説明中心 ⇔ 質問中心

指示 ⇔ 提案

解決策を提示する ⇔ 調べ方を伝える

- 自身が対応できない場合は、適切な人・部署へ紹介する（リファー）

行動計画の策定

- 具体的な行動計画へ落とし込む
- スモールステップ
 - ・大きな課題は小さな課題に分けて計画的に
 - ・「やればできそう」という自己効力感
- 必要に応じて次回の面談の予定
 - ・「1週間後に学習の状況を確認してみませんか」
- 学生が自分の言葉で計画の実行を約束する
- 時間に余裕があれば、学習の一部をその場で始める

面談の振り返り

- 面談の終わり方を考えておく
 - ・面談を振り返り、学生のその後の行動につながる貴重な時間
- 明らかになった課題と課題解決に向けた行動計画と行動への意思を確認する
 - ・学生の理解を確認
 - ・継続的に面談を行う場合は、次回の予定を再度、確認
- 励ましやねぎらいの言葉をかけて送り出す
- 面談について記録する
- 大学の問題に気づいたら関係者に報告する

フォローアップ

- 次回の面談の際に学生に直接、進捗状況を確認する
- Eメールを用いて、状況を確認する
- 学生に廊下で会った時に、状況を確認する
- LMS等を用いたり、他の先生から状況を確認する

学生と温かい関係を作る

- 学生を一人の人間として尊重し、そのうえで温かい関係を作るようにしましょう。
- 学生の個性はさまざま
- 成長過程の途上にあることを踏まえ、個々の学生を尊重する
- 教職員への接し方が丁寧な学生、ぞんざいな学生

(田中ほか, 2016)

面談しやすい関係と信頼を築く

- 笑顔で挨拶をする
- 学生の名前を覚えておく
- 学生に関心をもつ
- 正確な情報を把握しておく
- 面談の目的を明確にしておく
- 学生の話を傾聴する
- 学生に共感を示す
- アイコンタクトをとる
- ノンバーバルなメッセージに気を付ける
- 学生の利益を第1に考え、学生のために行動する
- 分からないことは分かっているふりをしない



学生をよく観察する

- 学生が考えていることは、本人が言語化して伝えてくれない面がある
- 学生が自分の思いや気持ちをすべて教職員に語るわけではない
- 学生を丁寧に観察することで、気持ちやその変化に気づくこともできる
- 行動や表情等の外側に現れているものから内面を推察する
- 心の状態は行動や表情、体調等何らかの形で表にでる 「他と違う」、「いつもと違う」

(田中ほか, 2016)

早期支援が必要になる状況

- 欠席がちになった
- 遅刻や早退が増えた
- 単位の修得数が減った
- 表情が暗い
- イライラしている感じがある
- 短期間で太った、あるいは痩せた

学生の行動や表情、体調等にいち早く気づくことで早期支援が可能となる

(田中ほか, 2016)

他部署につなぐ際の注意点

- ・学生の抱えている問題に対して自身が支援できるかどうか、また支援する資格があるかどうかを判断する
- ・学生の感情的・心理的な反応を考慮し、他部署につなぐ理由を学生にしっかりと説明する
- ・つなぐ部署や担当者に学生の情報を提供してもよいか確認する
- ・つなぐ部署や担当者について、学生に具体的に説明する
- ・学生が訪ねるべき部署を、学生と一緒に検討する
- ・可能な限り、学生と一緒に該当の部署を訪ねる。学生に同行することが難しい場合は、該当部署に学生が訪ねる予定であることを事前に伝える
- ・学生本人やつないだ先の担当者に状況をフォローアップする
- ・部署や担当者の情報を日常的に収集しておく



研修のふりかえり

■今日のキーポイント(4つの視点)

- ・学生との温かい関係を築く
- ・学生をよく観察し、変化に気づく
- ・早期に支援が必要なサインを見極める
- ・他部署と連携し、必要に応じてリファーする

■ケースを通じての学び

- ・Aさん: 日常的な課題にも観察・声かけ・行動計画が有効
- ・Bさん: 感情のケアと多方面の連携が重要明日からできる一歩

■今日の気づきを自分の現場でどう活かすか、1つだけ書いてみましょう。

学生対応のヒント



- 執筆者の経験から得た知識や方法を蓄積し、可視化
- 学習支援の実践的な方法を場面・テーマ別に100のQ&Aで解説
- 学習支援の現場で活用できるシートやアンケートなどの例を紹介

参考文献

- ベネッセ教育総合研究所(2022)『第4回 大学生の学習・生活実態調査報告書 データ集 [2021年]』
<https://berd.benesse.jp/koutou/research/detail1.php?id=5772>
- 中央教育審議会(2018)「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」概要
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2018/12/17/1411360_7_1.pdf
- 日本学生支援機構(2024)『令和4年度学生生活調査結果』
https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/_icsFiles/afieldfile/2024/03/25/data22_all.pdf
- 日本経済団体連合会(2022)「採用と大学改革への期待に関するアンケート結果」
https://www.keidanren.or.jp/policy/2022/004_kekka.pdf
- 日本私立大学連盟(2018)『私立大学学生生活白書2018』
- 日本私立大学連盟(2022)「第16回学生生活実態調査集計報告書」
- 文部科学省(2024)「大学における教育内容等の改革状況について(令和4年度)」
https://www.mext.go.jp/content/20241011-mxt_daigakuc01-000038093_1.pdf
- 清水栄子・中井俊樹編(2022)『大学の学習支援Q&A』玉川大学出版部
- 田中真理・池田忠義・堀匡・佐藤静香(2016)『学生のための心理・教育的支援【電子版】』
<https://www.cpd.ihe.tohoku.ac.jp/hvg42285/wp-content/uploads/2012/06/PDF%CB%9039MB.pdf>